

第1回（仮称）和光市公共施設マネジメント実行計画検討市民委員会会議

会議要旨

開催日	平成28年10月27日（木） 19時00分～20時30分
開催場所	和光市役所6階 602会議室
出席者	中川委員、小倉委員、田中委員、長谷川委員、星谷委員、
欠席者	なし
事務局	田中次長、横山主幹、鈴木統括主査、中嶋技師補
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 委員委嘱 2 挨拶 3 議題 <p>(1) (仮称) 和光市公共施設マネジメント実行計画検討市民委員会委員長の選出について</p> <p>(2) 検討委員会のスケジュールについて</p> <p>(3) 和光市公共施設白書について</p> <p>(4) その他</p>
傍聴者	3名

開会	
1 委員委嘱	
市長より各委員に委嘱状を交付した。	
2 挨拶	
市長	<p>和光市では、平成26年度に「和光市公共施設白書」を作成しまして、市が所有する公共施設等の実態を把握し、それを和光市民の皆様と共有させていただいています。</p> <p>また、平成27年度には、公共施設の最適な配置を実現するため、「総合管理計画」を策定しました。この公共施設マネジメント実行計画は、総合管理計画に基づきまして、公共施設マネジメントを具体的に推進することを目的としています。今後の公共施設の方向性について、個別具体的な中身を検討していくということです。</p> <p>全国的に公共施設マネジメントについて、今後具体的にどのようにしていくのかというのが大きな課題となっています。特に首都圏でも公共施設が過剰な自治体というのが増えています。当市では、人口一人当たりの公共施設の延べ床面積は、全国平均ぐらいですが、平均というのは、人口密集地帯でありますので、過剰な公共施設が全国レベルで比較するとその傾向があると考えられます。一方で当市は、まだまだ人口が増えている状況ですので、市民の皆様とどういうビジョンを共有するのが今後の課題です。</p> <p>特に、市の政策会議において、今後は、5年毎くらいのスパンで行う学校</p>

	<p>の改築に併せて、公共施設をなるべく学校施設に吸収することで、市民の負担を和らげ、公共施設の適正化を図れるのではないかと話をしたところでは。</p> <p>また、まだ市民の方の中には今後の公共施設の全体のサービスの水準を下げずにやれると思われている方も多いのではないかと思います。実際には、今後高齢化、あるいは、平成30年、平成40年と進んでいくと人口も減ってまいりますので、その中で、やはり現実的なところを市民と共有しながら、われわれの実力にあった公共施設のあり方というのを、しっかりと考える必要があると思っています。とにかく、ゆるやかで道はまだ開けておらず、昭和の発想の方が、まだまだいらっしゃると思いますが、しかしながら現実を皆様と考えながら、現実を語る仕事をやって行きたいと思っていますし、その際には、皆様の議論が参考になると思っています。是非とも、ともに和光市の未来を、現実を語るための会議になるようよろしく申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。</p>
3 議題	
事務局	<p>●説明</p> <p>○配布資料の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料1～4とスケジュール表、委員名簿は事前に送付している。 ・ 資料5は本日配布した。 <p>○会議の公開について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民参加条例第12条第4項に基づき、公開とし、傍聴席を設けている。 ・ 会議録は同条第6項の規定により公開する。会議録は発言者の氏名とその発言の要点を記載する要点記録の形式とする。 ・ 会議録の作成にあたっては、委員の皆様へ郵送又はメールで事務局が作成した原稿を送付し、確認後、修正等があれば事務局へ連絡をいただき校正したい。会議の録音については、会議録作成のために行い、会議録作成後に消去する。
(1) 和光市まちづくり寄附条例改正検討委員会委員長選出	
	<p>各委員、事務局が自己紹介を行った。</p> <p>委員会設置要綱第3条第2項に基づき、委員長に中川委員が選出された。副委員長には委員長の指名により長谷川委員が選出された。</p>
(2) 検討委員会のスケジュールについて	
事務局	<p>資料「検討委員会スケジュール」に基づき会議の流れを説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回は、和光市公共施設白書について説明 ・ 第2回以降も引き続き、委員間で意見交換を行いながら審議していただきたい。 ・ 会議は5回程度を予定。第3回以降は、新しい組織の下で行う予定。 ・ 会議の開催時間は今後も本日と同じ午後7時からとしてよろしいか。
全委員	問題なし。

事務局	次回以降も午後7時からとする。開催通知は事前に郵送するので確認していただきたいと思います。
(3) 和光市公共施設白書についての説明	
事務局	<p>●説明</p> <p>○和光市公共施設白書の概要についての説明。</p> <p>○現状と課題。</p>
	<p>●質疑応答</p>
中川委員長	事務局の説明について質問はありますか。
中川委員長	<p>白書では、公共施設の今後の維持管理運営に向けた課題に対して、保有総量の抑制、将来更新費用を低減しなければならないということを挙げていますが、「将来更新費用」として算出している、耐用年数50年の場合は、これまでのペースではまかなうことが出来ないと言えると思います。更新が今までのペースで出来ませんよというだけで、保有総量を抑制するという結論を導くのは、ややメッセージとしては弱いかと思います。全体としてその公共施設が老朽化していて維持管理費は増え、和光市は扶助費等も増えているわけで、更新が出来なくなる以上に、義務的経費が増えてきて更新が出来なくなるという恐れもありそうです。これは危機とか、リスクとかを市民の皆様にご説明されたことはありますか。</p> <p>維持管理費用が、これからこうなるという予測はされたことはありますか。</p> <p>シュミレーション上、他の経費を圧迫しているとかそういったものはありますか。</p>
事務局	<p>市では、平成26年度には公共施設白書、平成27年度には公共施設総合管理計画の策定を行い、その中で公共施設の維持管理費等について記載をし、説明しております。</p> <p>また、公共施設の標準的な耐用年数を50年、65年と決定した場合の将来の更新費用をシュミレートし、試算もしております。しかし現時点では、一般の市民の方々や、公共施設の利用者に対して直接に公共施設の維持管理費や運営にかかる経費について説明会等を開催して、説明はいたしていません。今後の市の歳入の減少や歳出における扶助費等の義務的経費の増加が見込まれる財政状況が想定されておりますが、これらの費用が他の経費をどれだけ具体的に圧迫しているのかについてまで分析はしていません。</p>
	<p>●意見交換</p>
長谷川委員	和光市で重点的に考えていかなければいけないのは、公共施設の用途別の延べ床面積ベースでみると学校施設が全体の45.3%を占めています。本編3-58ページを拝見すると、図3-4-2和光市駅を境に、北側に下新倉小学校、

	南下していくと本町小学校、北原小学校等。児童数の推移は 3-61 ページ上のグラフをみると 児童数の推移が記載していますが、南側の小学校が集まっている地域で児童数が減っています。和光市で公共施設のあり方を考えると、学校は児童数が減っているからといって、簡単に減らせません。学校は教育の場であったり、避難施設でもあるので、小学校をどう活用するかが今後の課題だと思います。
小倉委員	<p>北原小学校と本町小学校の統合はかなり前から言われていますけど、でも現時点で、今のままということで落ち着いています。そういう意味でも地域と共に学校があるという、理想的な展開をしているのが、下新倉小学校だと思います。私共は、主に公民館を活動の場としていますが、使われている場所と使われていない場所の差が激しいと思います。是非とも市民の力、NPO 法人の力を公共施設の運営に役立ててもらいたいと思います。</p> <p>市民アンケート調査結果⑧の中の、サービス水準の引き下げについて、「どちらかというを実施すべきではない」47%。「どちらかといえば実施すべき」22.9%ですが、残りはなんでしょうか。</p>
事務局	サービス水準の引き下げについての詳細は、白書 4-14 ページに記載があります。将来にわたり、行政サービスを安定的に提供し続ける方策の中の⑧の質問にあたります。残りは積極的に実施すべきが 9%で、実施すべきではないか 16.2%との回答を得ています。
中川委員	公民館の稼働率については。
事務局	稼働率に関しましては、3-82.83 ページに記載しています。貸室の稼働率として、公民館は 40%未満というのが目立っています。
田中委員	学校の配置について、和光市下新倉の地域は農地が多く人口密集地ではない。人口が密集しているところに優先的に学校が建ったということが示されていると思う。本町小と北原小は非常に近いところに建っており、どちらも以前より児童数が減っている状況である。本町で育った子どもたちが、他へ巣立ってしまうという現象が起きており、人口が増えることが想定できない。地域ごとに偏った人口数になっているものと思われる。
星谷委員	いかに市民へのサービスを低下させないで、施設を有効に活用できるかを重点的に考えていく方法がいいかなと思います。線路より南側は、人口が密集した地域を中心に学校が出来たと思うが、北側には小学校が少ないが、市の中で学校機能を有効的に活用できたらよい。小学校の施設の一部を小学校以外の事業が活用できるか検討していく必要があります。
中川委員長	<p>二つ大きな問題あります。</p> <p>一点目は「保有総量の抑制を納得してもらえる説明ができるか」ということです。</p> <p>保有総量の抑制については、我々も納得したうえで、議論しなければならないと思うし、総合計画のところで事務局から説明していただけたらと思う</p>

	<p>います。</p> <p>市の財政全体として考えた中で、施設の更新がなかなか出来ませんでは伝わらない。こういった部分は、我々と事務局で議論していくものと思われま</p> <p>す。</p> <p>二点目は、公共施設の配分の問題だと思います。</p> <p>地域的なバランスをどうしますか。</p> <p>たとえば、盛岡市では、コミュニティごとに高齢者施設、青少年施設を同じように配分する方針でやってきました。</p> <p>旧市街地と、新市街地の人口の差をどうしていきますか。</p> <p>人口は増加するが、高齢化は進んでいくわけで、高齢者向けの施設の配分は変えていく必要があります。</p> <p>市民の方に納得してもらえることが重要であり、そのような議論が出来ればよいと思います。</p>
小倉委員	<p>総務省からの通達があって、この取り組みがあると思うが、全国で既に取り組まれている状況があれば教えてほしいです。</p>
中川委員長	<p>公共施設マネジメントで有名なところはあると思うが、次回は何件か事例を事務局から提示してください。</p>
(4) その他	
事務局	<p>●説明</p> <p>○次回会議について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回は12月19日又は22日19:00を予定。 ・ 開催通知は後日郵送するので欠席する場合は連絡してください。 <p>○会議録について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局で原稿を作成し、委員宛てに送付する。確認し、修正等があれば11月1日までに事務局へ連絡をお願いしたい。期日までに連絡がない場合は承認いただいたものとして、会議録の作成を進める。 ・ 会議録の修正等が出た場合、取りまとめた後速やかに市ホームページで公表する。
閉会	